２．東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (東北)	◎	コンビニ（店長）	来客数の動き	・夏の最盛期であり、１年で最も売上が増える時期である。ただし、今年は天候が悪く気温も低い日が続いているため、前年と比較すると来客数、単価共に下がっている。
	◎	観光型旅館（スタッフ）	販売量の動き	・販売量が前年を下回っているものの、単価の高い客が多く、件数不足の売上を大きくカバーしている。
	○	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・今月は長く低迷が続いていた婦人服に回復の兆しがみられており、ミドルからシニアにかけての顧客層の売上が伸びている。また、気温が低いこともあり初秋物に動きがみられている。食品に関しても、七夕からお盆商戦にかけて土産品を中心に大きく売上を伸ばしている。
	○	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・天候不順により、ソフトドリンクやアイスクリームなどの販売量が不調である。また、来客数にも影響が出ており前年比で５ポイント減少している。
	○	衣料品専門店（店長）	単価の動き	・夏物礼服がメンズ、レディース共に好調であり、１品単価も前年と比較して3,000円ほど高くなっている。
	○	住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・今月はお盆の時期のため、小物商品の販売量は好調である。ただし、単価が低いため大幅な売上の増加にはなっていない。
	○	その他専門店［靴］（従業員）	販売量の動き	・今月は、暑かった７月から一転して平年よりも最高気温が７～８度ほど低く、夏物商材の動きが止まっている。一方、秋物商材は例年より早い動き出しとなっている。
	○	その他小売［ショッピングセンター］（統括）	来客数の動き	・地元駅の再開発や改装により人の流れが良くなり、集客力が増している。
	○	一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・販売量、来客数共に伸びている。
	○	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・夏休みやお盆の時期のため一時的に来客数は増えたものの、全体的には例年並みで推移している。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・宿泊部門は好調を継続している。４～５月はインバウンド客が多いためであったが、今月はスポーツ関係の大会が目白押しであり、加えて製薬関係の会合が非常に多く、一般宴会や宿泊の数字を押し上げている。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・屋上にあるビヤガーデンなどがにぎわっており、３か月前と比較して人の動きが良くなっている。
	○	その他サービス［自動車整備業］（経営者）	単価の動き	・以前よりも見積案件に対する即決率が上昇しており、80％と高い水準となっている。また、１件当たりの受注単価も10％ほど増加している。
	○	住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・停滞していた建て売りや宅地の売買が進んでいる。
	□	商店街（代表者）	来客数の動き	・天候の良い日が続いているため商店街の交通量が多く、来客数も前年をやや上回っている。ただし、客単価が若干低下しているため、全体としては前年並みの推移となっている。
	□	商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街に動きがない状態が続いている。
	□	商店街（代表者）	お客様の様子	・商店街による夏場のイベントがにぎわったことで、飲食関係は好調である。しかし、日照不足や長雨による天候不順で衣料品などが不調のため、全体的には大きな変化とはなっていない。
	□	一般小売店［書籍］（経営者）	来客数の動き	・地域イベントや売り出しがあるときとそれ以外とでは、駐車場の稼働率に相当な隔たりがある。
	□	一般小売店［酒］（経営者）	販売量の動き	・地元の大きな祭りによる観光客を期待したが、期待はずれで終わっている。
	□	一般小売店［医薬品］（経営者）	来客数の動き	・記録的な長雨の影響で七夕や花火大会が不振に終わり、客足も途絶えてしまっている。ただし、客単価が上がっているため、売上はなんとか前年並みを維持している。
	□	一般小売店［医薬品］（経営者）	販売量の動き	・天候が良いため平日の売上が良い。また、客も迷わず自分の欲しいものを購入するといったことで、客の消費行動についても良い状態が続いている。

□	一般小売店［酒］（経営者）	販売量の動き	・心配したお中元も例年並みの実績となったが、物産館などのお土産物の販売量もお盆前までは好調であったものの、お盆明けから天候が不安定だったこともあり伸び悩んでいる。
□	一般小売店［寝具］（経営者）	販売量の動き	・布団づくりの注文も少なく、二次商品の需要も伸びていない。
□	一般小売店［カメラ］（店長）	販売量の動き	・販売量は横ばいで推移しているものの、高額商材に動きがあり、全体の売上を補っている。
□	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・依然として慎重な購買姿勢が続いている。夏物商材や涼感商材に関しても、クリアランスからの再値下げまで我慢しようとする様子がみられている。
□	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・ファッションゾーンの苦戦が続いており、３か月前と比較しても、その状況に変化はない。
□	百貨店（買付担当）	お客様の様子	・雑貨、衣料品共に秋物に動きがみられるものの、依然買物に対して慎重な行動に変化はない。また、気温や天候の影響も大きい。
□	百貨店（売場担当）	来客数の動き	・相変わらず来客数が増える気配がなく、売上の増減は顧客の来店頻度によるところが大きい。８月のセールやお盆期間であっても新規客の来客数は非常に少なく、帰省の際のおねだり買いといったものも今年はない。景気回復がみられないまま過ぎた月となっている。
□	百貨店（経営者）	販売量の動き	・高額商材は引き続き好調に推移しているものの、これは一部の顧客層の動きであり、一般的にはまだまだ景気の回復感にばらつきがある。夏のセール、お中元、お盆時期の需要も決して良いわけではない。
□	スーパー（経営者）	来客数の動き	・８月前半は天候も良く夏物商材が売れたものの、中旬以降の長雨と気温低下によりマイナスとなったため、月全体としてはあまり変わらない状況となっている。
□	スーパー（経営者）	単価の動き	・８月は夏らしい日が極めて少なく、氷菓、飲料、涼味商材の動きが今一つ良くない。また、地域間の格差が若干みられている。それでも全体的な売上などの前年同月比は、横ばいで推移している。
□	スーパー（店長）	来客数の動き	・雨の日が多かったため、来客数が減少している。
□	スーパー（総務担当）	単価の動き	・買上単価の上昇により、来客数の前年比は変わらないものの、客単価が伸びており、景気は好調に推移している。
□	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・７月とは一転して曇天が続き、予想に反して夏は不発に終わっている。そのため、アイスやソフトドリンクなどの売上が伸びず、来客数も増えていない。
□	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・なんとか前年並みの売上を維持している。
□	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・週末や月末、好天の日などは勢いが良いものの、それ以外の日は来客数が５～10%減少している。
□	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・３か月前との比較では伸びているものの、盛夏時期の来客数としては、気温が高いにもかかわらず、前年比で低くなっている。
□	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・８月は南東北の天候不順や、当地域での記録的な長雨により人の動きが悪く、来客数が減少している。
□	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・急に気温が下がったので秋物商材の動きに期待したが、客の財布のひもは固く、期待はずれに終わっている。また、雨の日も多かったため、来客数も減少している。
□	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・祭り用品の売上が伸びている。また、観光客によるお土産品の売上増加で、今月は順調に推移している。
□	衣料品専門店（店長）	それ以外	・記録的な長雨により、夏物スーツやフォーマルの需要が消えてしまうなど、順調だった夏物需要に水を差された形となっている。
□	衣料品専門店（店長）	それ以外	・夏物商材の動きは例年並みであるが、朝晩が過ごしやすい気温になっているため、単価の稼げる秋物商材の動きが例年よりも早まっている。
□	衣料品専門店（総務担当）	来客数の動き	・８月の天候不順により、来客数及び販売量に影響が出ている。
□	家電量販店（店長）	来客数の動き	・夏物商材、映像機器などが好調に推移したものの、多分に季節的要素が強い。
□	家電量販店（店長）	来客数の動き	・今月は冷夏の影響があったものの、来客数は前年並みで推移しており、売上の前年比も98%となっている。

□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新型車イベントの前であるが、新車販売の前年比は堅調に伸びている。特に軽自動車の伸びが大きい。
□	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型車の発表がなく、動きがない。
□	乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・ここ数か月、土日祝日の来客数に変化がない。
□	住関連専門店（経営者）	お客様の様子	・見積依頼は増えているものの、成約に時間がかかっている。そのため受注量もあまり伸びていない。
□	その他専門店［酒］（経営者）	来客数の動き	・６月から施行された酒税法の一部改正による影響は残っているものの、徐々に数字は戻りつつある。ただし、数字の動きが全く読めない状況のため、慎重に手配を進めている。
□	その他専門店［白衣・ユニフォーム］（営業担当）	販売量の動き	・例年売上が落ちる時期であるが、今年は納期がずれたこともあり、夏の売上に計上できたものが多い。ただし、冷夏の影響かＴシャツやポロシャツの動きは例年よりも少ない。
□	その他専門店［ガソリンスタンド］（営業担当）	販売量の動き	・夏らしい暑さがないため冷房用需要が減少したのか、灯油の販売量は前年を下回っている。また、単発的な現場需要により軽油は好調であるが、基調としては除染事業の縮小による軽油需要の減少傾向に変化はない。
□	高級レストラン（支配人）	お客様の様子	・来客数、販売量共に前年並みであるものの、単価が若干下がっている。また、客である中小企業の社長なども、景気があまり良くないと話している。
□	高級レストラン（支配人）	単価の動き	・予約件数は前年を上回ったものの、単価が下回ったため、相対的に前年並みで推移している。
□	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・来客数の動きに変化はない。暑いときに暑くならないと、景気は良くならない。
□	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・スポーツ、文化系の全国大会があり、宿泊客数は前年を上回っている。しかし、それ以外の一般の来客数は増えていない。
□	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊は前年を上回っているものの、一般宴会は前年並みであり、特に婚礼部門は０件で終了している。ただし、最近になり和食レストランの個室部門の伸びが目立ってきていることが救いである。
□	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・停滞感が続いている。前年比の落ち込みも数か月前から同じ状況であり、大きな変化はみられない。
□	旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・夏休みの影響で来客数が増えている。また、スポーツイベントの関係で団体予約も好調である。ただし、今月は一時的な要因で良くなっているだけであり、景気が良いとまではいえない。
□	旅行代理店（店長）	販売量の動き	・テロや北朝鮮問題など、海外情勢不安の影響が表れている。
□	旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・長雨の影響で国内旅行は近場の予約でも前年並みであり、先行申込状況も好調とはいえない。また、海外旅行については、依然として欧州、北朝鮮の影響を心配する声があり、これまでの状況に変化はない。
□	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・客の設備投資意欲に変化がみられない。
□	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・テレビサービスでは新しく４Ｋ、８Ｋサービスを展開しているものの、客の反応はあまり良くない。また、通信サービスは相変わらず顧客の奪い合いが続いているが、獲得数が解約数をやや上回っている程度で推移している。そのため、全体としては特に大きな変化はない。
□	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新製品が売れず、値下げ要求も多い。
□	観光名所（職員）	販売量の動き	・夏の始まりは天候に恵まれて売上も来客数も良かったが、後半になり、東北各県の夏まつり期間やお盆期間などの日取りが良くないためか、来客数は横ばいで盛り上がりもなく、トータルの販売量は前年並みで推移している。
□	観光名所（職員）	お客様の様子	・無料のサービスを好むなど、客からは購買意欲があまりうかがえない。
□	競艇場（職員）	来客数の動き	・ここ３か月間は通常より落ち込んだ状態が続いている。来場者が減少しているため、売上にも影響が出ている。
□	美容室（経営者）	単価の動き	・このところ、客単価が前年比95%前後で推移している状態が続いている。
□	美容室（経営者）	単価の動き	・冷夏の影響なのか、夏用のメニューが売れず、売上単価が減少している。

	□	その他住宅［リフォーム］（従業員）	来客数の動き	・リフォーム工事の受注につながる問い合わせが、前年と比較して84.6%に留まっている。
	▲	商店街（代表者）	それ以外	・天候不順が景気に非常に悪影響を与えている。
	▲	商店街（代表者）	来客数の動き	・天候に悩まされた１か月であり、特に書き入れ時の七夕は最悪であった。
	▲	百貨店（総務担当）	単価の動き	・客の買上単価は低下しているが、一方で興味を持った商品に関しては費用を惜しまない客もおり、消費の二極化が進んでいる。
	▲	スーパー（営業担当）	来客数の動き	・競合店の出店により来客数が減少している。チラシによる販促強化やポイント倍増セールにより、買上点数、買上単価共に前年を上回っている。ただし、来客数減少分をカバーするまでには至っていない。
	▲	スーパー（営業担当）	来客数の動き	・天候不順で飲料、酒などの売上が厳しい。また、お盆期間の来客数が前年を下回っており、８月全体でも来客数は前年を下回っている。天候も大きく影響したが、買上点数も落ち込んでおり、消費の冷え込みを実感している。
	▲	コンビニ（店長）	来客数の動き	・今月はとにかく天候が悪く、来客数が減少している。それに伴い売上も３～４％落ち込んでいる。
	▲	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・今月で夏物も最後のため動きが悪くなっている。また、やっと秋物を入荷したが、取り置きの状態のため売上につながっていない。
	▲	家電量販店（従業員）	来客数の動き	・チラシ効果も薄く、来客数が減少しており、それに伴い売上も良くない状況である。
	▲	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・販売量の前年比の伸びが鈍化傾向にある。
	▲	住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・業績不振による漆器関係の廃業が続いている。
	▲	その他専門店［ガソリンスタンド］（営業担当）	販売量の動き	・長雨の影響により来客数が減少している。さらに、洗車などの売上も大きく落としている。
	▲	高級レストラン（経営者）	お客様の様子	・来客数が伸びないため、売上も良くない。何より客のマインドが後ろ向きになっている。
	▲	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・８月はランチ、ディナー共に来客数が非常に少なく、オープン22年目にして最も暇な夏となっている。天候が悪かったこともあるが、レストランの必要性が薄れているのではないか。
	▲	一般レストラン（経営者）	競争相手の様子	・毎朝の市場で会う同業者の８～９割は、例年と比べて商売が動かないと話している。また、市場関係者の売上も落ちている様子である。
	▲	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・お盆の帰省はにぎわったものの、お盆期間の前半に来店が集中して後半の来客数は少なくなっている。帰省が土日を挟んだ日程に集中したためとみている。
	▲	通信会社（営業担当）	単価の動き	・各種商品の値上げが続いている。価格を据置いても重量を減らして実質的な値上げとなっている商品も散見されている。そのため、消費者の収入が横ばいだが、実質的な支出が増加している状況となっている。
	▲	美容室（経営者）	来客数の動き	・顧客は年配者が多く年々減少しているが、若い客が増えないため、景気が悪くなっている。
	×	一般小売店［医薬品］（経営者）	来客数の動き	・６～７月に来客数が大きく減少し、さすがに８月はその反動が表れると期待したが、結果として更に来客数は減少している。客単価は持ち直しているものの、来客数の悪化が顕著である。不景気もあるのかもしれないが、客の表情は以前と特に変わっておらず、悪化の要因がわからない。
	×	スーパー（経営者）	お客様の様子	・競合店が近距離にオープンしたことで、売上などへの影響が大きい。
	×	スーパー（店長）	来客数の動き	・今月は売上が前年比94.9%、来客数93%と、かなり厳しい状況である。
	×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・前月同様、暑すぎて需要がない。
	×	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・例年、８月は祭りやお盆休みで稼働日数が少ないため、売上が減少する傾向にあるが、今年は特に良くない状態である。
	×	旅行代理店（店長）	販売量の動き	・国内旅行は、団体、個人共に前年比85%程度の予約数となっている。
	×	遊園地（経営者）	来客数の動き	・記録的な長雨がお盆を含んだ夏休み期間を直撃しており、来客数が前年よりも25%も下回っている。

企業動向関連 (東北)	◎	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・小規模のものが多いが、継続的に仕事を受注できている。
	○	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・８月は、全国的な大会やコンサートが地元で開催されている。県外から多くの人が来ており、地元名物の飲食や土産物の購入が好調である。
	○	金属製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・仕事の引き合いが増えてきている。
	○	電気機械器具製造業（企画担当）	取引先の様子	・高性能電子機器の開発スパンが延びることもなく、順調に推移している。
	○	建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・今年度発注の公共工事の受注が確定してきており、年度初めより景気は若干上向きの状況となっている。
	○	金融業（広報担当）	取引先の様子	・百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電、ホームセンターの各小売業態で、販売額が前年同月比プラスで推移している。また、自動車販売台数も前年を上回る状況が継続している。
	□	農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・お中元の贈答用ものの注文数は前年並みであり、農協出荷分の価格も前年並みとなっている。
	□	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・地元の大きな祭りで売上の増加を期待したが、台風の接近により大きく売上を落としている。ただし、帰省のお土産需要が好調であったことから、売上の前年比は若干のプラスで推移している。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・国内受注は堅調に推移しているものの、海外需要に強さがない。
	□	電気機械器具製造業（営業担当）	取引先の様子	・取引先の製造関連企業の仕事量はそれなりに入っているところが多い。
	□	建設業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・手持ち工事の繁忙度の高い状態が続いている。
	□	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・業種によって好不調が分かれており、全体としてあまり大きな変化はない。
	□	通信業（営業担当）	取引先の様子	・入札の際、条件面での対応に冷ややかな反応の顧客が増えてきている。何かしらの付加価値がないと厳しい状況である。
	□	通信業（営業担当）	取引先の様子	・設備投資より、経費削減に重きが置かれている。
	□	金融業（営業担当）	取引先の様子	・資金ニーズに大きな変化はなく、需給状況も安定している。
	□	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・地元のイベントが多く活気はあるが、例年よりもコンペ案件が少ない。
	□	公認会計士	取引先の様子	・建設関係は依然として利益を計上している会社が多いが、売上、利益共に前年比が減少している企業も多い。サービス業、小売業も総じて売上、利益共に前年比が減少しているものの、こちらも利益計上企業が多い。
	□	コピーサービス業（従業員）	受注量や販売量の動き	・売上、販売台数共に横ばいで推移しており、大きな変化がない。
	□	その他企業［企画業］（経営者）	それ以外	・地域格差、業界格差が見受けられる。東日本大震災後、再建などの報道はあるものの、そもそも人口が戻らないため、特に食料関係の需要が戻っていない。
	▲	農林水産業（従業者）	それ以外	・８月に入ってからの日照不足や長雨により、農作物への薬剤散布など、生育管理に思わぬ出費を余儀なくされている。
	▲	食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・６月から主力商品の小売価格が上昇した影響で、今月も販売量は前年比20%以上の減少となっている。
	▲	繊維工業（経営者）	取引先の様子	・店頭の売上が悪い。
	▲	木材木製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・輸入製品を中心とした住宅部材の値上げ分を、販売価格に転嫁できていない。
	▲	出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今年の１月から印刷業界の動きが鈍くなっている。特に官公庁の発注量の減少が響いている。
	▲	出版・印刷・同関連産業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・売上、受注残高の前年同月比は、３か月前と比較して５％ほど減少している。
	▲	窯業・土石製品製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・需要の減少に加えて、天候不順や集中豪雨により出荷に影響が出ている地区もある。また、長雨や集中豪雨の影響が農作物や地域経済に与える影響も懸念している。

	▲	広告業協会（役員）	それ以外	・天候不順により、清涼飲料メーカー、飲食店関係、大型商業施設などの出稿が激減しており、広告業界はかなり苦戦を強いられている。
	▲	経営コンサルタント	取引先の様子	・東北の記録的な長雨はあらゆる客商売に悪影響を与えている。
	▲	その他非製造業［飲食料品卸売業］（経営者）	取引先の様子	・取引先では、前年と比較して来客数が３％ほど増えているものの、買上単価は２％ほど減少しており、全体的に買上点数も10％ほど減少している様子である。状況がだんだん厳しくなってきている。
	×	＊	＊	＊
雇用関連 (東北)	◎	－	－	－
	○	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・求職者は順調に増加している。企業の採用難易度が高止まりで推移しているため、人材サービスを活用するケースが増えてきている。
	○	人材派遣会社（社員）	採用者数の動き	・派遣先企業における直接雇用への切替え案件が増えている。派遣スタッフの流出という側面では手放しで喜べないものの、採用ニーズはあるという証拠でもある。
	□	人材派遣会社（社員）	それ以外	・派遣分野の景気は堅調であるものの、７月から収益が悪化している大口の受託業務がネックとなり、３か月前と比較し現状維持となっている。
	□	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・中堅ビルメンテナンス企業、機械の商社による営業職の採用の問い合わせが増えているなど、景気の良い状態が続いている。
	□	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・求職者数の前年比は微増しているものの、求人とのミスマッチが多い。給与や休日など、より好条件を求める求職者が多いが、スキル的に見合わないケースが多く、売上増につながらない。
	□	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・大手求人サイトへの掲載を補助する自治体の施策により、特に北東北において求人数は増えているが、サイト閲覧者はより条件の良い全国区企業に応募している。首都圏への人材流出が見受けられており、自治体施策が逆効果となっている。
	□	アウトソーシング企業（社員）	それ以外	・仕事量は例年並みで推移している。
	□	新聞社［求人広告］（担当者）	求人数の動き	・夏はアルバイトを中心に求人が動く時期であるが、記録的な長雨の影響で、夏にアルバイトが必要な職種にほとんど動きがなかった。さらに、お盆のＵターン狙いの求人もいつもより少なくなっている。
	□	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・高水準な求人倍率に変化はない。ただし、少子高齢化による人手不足が主な要因であり、賃金増などの雇用条件の改善の動きはみられていない。
	□	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者数の前年同月比に大きな動きはなく、月間有効求職者数も同様である。また、新規求職者の求職理由にも大きな変化はない。
	□	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・時計工場で人員削減がみられている。ただし、大手ホームセンターの出店が予定されているため、景気の状況はどちらともいえない。
	□	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・人手不足から事業所は離職者が出ないように努めていることもあり、離職求職者は減少している。また、転職者の動きも落ち着いており、引き続き求職者の前年比が減少していることから、景気に変化はないとみている。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は前年比12％の増加。製造業の設備投資による増員や福祉施設の新規開設などもみられ、有効求人倍率は高水準を維持している。また、イベント絡みでの求人数増加の影響もある。
	□	学校［専門学校］（就職担当）	求人数の動き	・求人獲得数は前年同月と比較して微増状態のため、大きな変化はみられていない。
	▲	新聞社［求人広告］（担当者）	周辺企業の様子	・涼しい夏の影響により、観光地では沿岸を中心に客足が鈍っている。
	▲	職業安定所（職員）	採用者数の動き	・求人倍率は相変わらず高水準で推移しているが、必ずしも良い内容の求人ばかりではないため応募者も少ない。採用側の企業もその原因を良く理解せず、ただ求人を出している印象がある。
	×	－	－	－